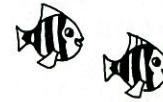


### スルメイカ

分類：十腕目 アカイカ科 (頭足類)  
 学名：*Todarodes pacificus*  
 英名：

我国周辺にのみ分布し、北は樺太から南は台湾にまでおよび、特に対馬海流域に多い。胴の長さは30cmに達し、腕はほぼその長さが等しく胴長の約半分位。胴は細長く、鰭は菱形。触腕はさほど長くなく、吸盤は4列で大きさは区々である。胴の中央部には濃黒紫色の縦帯が見られ、尾端近くまで延びる。沖合性の回遊種で、昼間は100 m以深の深所に生息するも、夜間浮上するため集魚灯を用い漁獲する。イカ類の中で最も水産的に重要種で、生食、煮付、塩辛等のほか、乾燥したものはスルメとして用いられる。



### ホタルイカ

分類：十腕目 ホタルイカ科  
 学名：*Watasenia scintillans*  
 英名：

熊野灘以北の太平洋側と日本海全域に分布し、初夏の産卵期には富山湾に大挙して来遊して、滑川市の地先海面は天然記念物として保護されている。胴の長さは約6 cm以下、体は紡錘形、鰭はやや菱形、腕は不揃で鉤と吸盤が2列に並ぶ。触腕は胴長より短い、その先端はややふくらみ、大きな2つの鉤状の吸盤が見られる。体腹面及び眼の周囲には500ヶ(雄)から600ヶ(雌)の黒色の小斑点があって発光器となるが、顕微鏡下では発光細胞の上をレンズ状の組織が被っている。第4腕の先端には特大の発光器があって新聞が読める程の光を発する。マツイカ、コイカとも呼ばれる。我国の特産種。

